

食べること
生きること
分かちあうこと。
大切なものは
農村から学べる。



アジア学院活動説明会

10月28日(金)12時～@VOLAS

アジア学院を知っていますか？栃木県にある農村指導者養成のための学校で、卒業生は55ヶ国以上で幅広く活躍しています。青年海外協力隊の派遣前訓練の受け入れもしています。短期で参加することもできます。ぜひ話を聞きにきてみませんか？

食卓から考える グローバル社会

健全な食べもの作りを中心に地域社会を生き返らせて、
自然と人間を大切にできる社会を築き上げる。
豊かな食卓を作り農村地域から平和を紡ぎだす。
そのためにアジア学院は、途上国の草の根で活動する団体の優れた人材を選び、
「農村リーダー」として育てる。



仕える指導者

Servant Leadership

学院の目指すリーダー像は、
差別のない人間関係を築き、
人々に寄り添える人。
このリーダー像に近づくために
アジア学院は学生が自主的に
成長する機会を提供する。



「共に生きること」 を共に学ぶ

農村リーダーのための研修プログラムの
三つの柱、「仕える指導者」、
「フードライフ」、
「共同体形成」。

フードライフ

Foodlife

「食べものといのちは互いに切り
離せない」という事実を示すアジア学院
独特の言葉。いのちが長くために、
私たちは創造主から与えられた自然と
土を大切に。食べものを作って
料理を工夫し、それを等しく分かち
合うことから喜びを得る。



6ヘクタールの学院
キャンパスでは60種類の
作物を栽培している。
ニワトリも豚も魚もいる。

毎日おいしい
オーガニック料理
が食べられるよ!



共同体形成

Community Building

毎年多様な豊かな
共同体を作り上げるために、
一人ひとりの特徴を尊重し、互いに
助け合う。メンバー全員の積極的な
参加を促し、日々の労働を平等に担う。
分かち合いの心に基づき、これからの
地域社会に役立つ新しい
生活様式を見つけ出す。



個人の成長を促す研修

毎年4月から12月まで9ヶ月間にわたる研修
には約30人の学生が参加し、発展途上国の農村
で活動するための実行力と姿勢を養います。日本
人学生も5名まで受け入れます。技術習得のみならず、
参加型学習法、ジェンダー、エコサイクル、
差別問題等といったコミュニティーリーダーとして
欠かせない課題にも触れ、学生が自己の成長を内
省できる環境を作り上げようと試みています。

カリキュラムは、アジア学院の使命である「共に
生きる」という40年にわたる経験から構築されて
います。座学、有機農業実践、見学と研修旅行、
諸団体との交流、自主学習と論文作成、口頭発表、
その他多くのイベント等から成り立っています。
「コミュニティーライフ」も研修にとって貴重な学び
の機会です。学生たちは皆、卒業後、自分の国に
戻り、所属団体を通してそれらの状況に適した社
会変革に強い意志を持って臨みます。

世界の農民に希望をとどける

学院を卒業したリーダーたちは55ヶ国以上で幅広く活動している。
1973年の創立から今日まで、1000人以上が持続可能な農業、教育、
医療、難民支援、女性の地位向上、平和活動、土地所有権問題、
植林活動、小規模金融などに関わり、農村の価値を人々に再確認
させ変革をもたらしてきた。そしてアジア
学院にやって来る数えきれないボランティア
やビジターもアジア学院から刺激を受け、
「共に生きる」精神を世界中に広げている。

